

2020年度研究助成金希望者募集要項

1. 助成金額と支給人員：対象1件につき1名（50万円）を原則とします。

ただし、金額・件数につき調整を行うことがあります。

2. 研究分野・テーマ：特に指定なし

＊ 但し、環境関係、燃焼及び生コンクリートに関する技術については
優遇配慮することがあります。

（参考までに、優遇配慮の研究事例を添付致します。）

3. 推薦いただきたい希望者数：若干名（他校分も含め3件の助成予定）

4. 申込み締切り：5月31日（本事業団着）

5. 決定通知：7月中旬学校経由で申込み者に通知します。

6. 助成金支給（贈呈式）：7月下旬の予定

7. お願い：

（1）その他の概要は、添付の「研究助成金申込みのてびき」をご参照
ください。

（2）推薦者は申込書の推薦欄をご使用ください。都合で別紙になっても
結構です。

（3）ご推薦のない場合は、ご面倒ですが文書もしくは電話でその旨ご一報
くださるようお願いいたします。

以 上

日工記念事業団研究助成金支給対象優先テーマ

2020年3月5日作成

1. 環境関連テーマ

- ①石油汚染土壌の浄化方法及び分析に関する技術の研究・装置の開発
- ②アスファルト廃材の再利用技術の研究・装置の開発
- ③コンクリート廃材の再利用技術の研究・装置の開発（再生骨材化・発生微粉末の再利用技術など）
- ④一般廃棄物のリサイクル技術の研究・装置の開発
- ⑤木質系バイオマスの利用技術の研究・装置の開発
- ⑥破碎・選別処理技術の研究・装置の開発（廃棄物等の一次処理）
- ⑦石炭灰等の再利用技術の研究・装置の開発（造粒・再利用用途開発等）
- ⑧廃石膏等の再利用技術の研究・装置の開発（無害化・再利用用途開発等）
- ⑨代替燃料に関する研究

2. 熱・燃焼関連テーマ

- ①低 NO_x 燃焼技術の研究（内燃機関除く）
- ②排ガス処理関連技術の研究・装置の開発（脱臭，脱硝，触媒，生物利用など）
- ③拡散燃焼シミュレーション等の研究
- ④気体流シミュレーション等の研究
- ⑤各種燃焼技術の研究
- ⑥ガス化（炭化）技術の研究
- ⑦過熱蒸気利用による装置の開発（食品関連除く）
- ⑧超高温燃焼技術の開発（酸素富化燃焼 etc）
- ⑨熱のカスケード利用に関する研究（潜熱回収 etc）
- ⑩レアメタル燃焼回収技術

3. 生コンクリート技術関連テーマ

- ①生コンクリートの新しい練り混ぜ装置、システムの開発
- ②生コンクリートのスラッジ水、スラッジケーキの再利用技術の研究・装置の開発
- ③生コンクリートのワーカビリティ、流動性等の測定センサ・装置の開発
- ④生コンクリート中の単位水量測定センサ・装置の開発
- ⑤混練・混合を評価するシミュレーション等の研究

4. その他 センサ技術・エンジニアリング 等

- ①アスファルト合材、コンクリート等の付着防止、磨耗防止のための新素材・表面処理技術の研究
- ②細骨材～粗骨材の粒度判別がリアルタイムで可能な（画像処理）装置の開発
- ③コンベア上あるいは貯蔵ホッパ内の骨材（砂利・砂）の表面水測定センサ・装置の開発

上記テーマ及び、関連テーマであれば、お打合せの上優先的に採用する方向で検討させていただきます。
又、内容によっては共同研究・共同開発として別途予算組し、研究・開発を推進することも可能です。

受 理 No.		

研究助成金申込書

一般財団法人 日工記念事業団 代表理事殿

年 月 日

下記の研究に対し助成をうけたいので研究計画書を添えて申込みいたします。

学 校 名		フリガナ		
		氏 名		印
職 名		生年月日	年 月 日 (歳)	
所 属 (電 話)		本籍地	※都・道・府・県	
最終学歴	大学	年 卒	住 所	

研究課題：

研究計画の概要 詳細は別紙研究計画書の通り	1. 研究目的				
	(簡潔に)				
	2. 研究の場所				
	3. 研究の予定期間				
	4. 研究費用の概算総額	万円	(助成希望金額	万円)	
	5. 助成希望額の使途	(1)設備・備品費	万円	(2)消耗品費	万円
		(3)文献, 旅費その他	万円		
	6. 研究協力者(職名・年令)		計	名	
	7. 発表論文	件	(この内、今回申請テーマに特に関連のあるもの		件)
8. 同種テーマによる文部省科学研究費 その他の申請・受給状況					
9. 備考					

推 薦 欄	上記の者の研究は貴事業団の助成をうけるのにふさわしいと認め推薦いたします。			
	(追記)			
	年	月	日	学校名
	一般財団法人 日工記念事業団 代表理事殿		職名	
		氏名		印